

防災訓練

大津波を想定し防災訓練

大規模地震による大津波を想定した市防災訓練が9月18日、市民会館で行われ、枕崎地区住民や消防署、消防団、警察署、自主防災組織などが

ら約350人の参加がありました。始めに市民会館を避難所として、防災無線から流れる大津波警報の放送に従い、枕崎



①避難誘導訓練 ②熊本地震派遣職員の見学報告 ③防災講演会 ④災害応急給水活動訓練  
⑤災害応急救助活動訓練 ⑥応急処置訓練

地区(折口町、西本町、千代田町、緑町、住吉町)の住民が一斉避難の訓練を行いました。その後、市民会館周辺では、消防署員や女性消防団員による応急処置訓練や、水道課職員による災害応急給水活動訓練、消防署救助隊と警察署、建設業組合による災害応急救助活動訓練、防災用品の展示などがあり、参加者は興味深く見学していました。また、熊本地震支援のために派遣された本市職員の活動報告や、県防災アドバイザーの福岡純孝さんによる防災講演会も行われました。

避難所・経路などは事前にチェックを

もしものときのため、家族が離れ離れになったときの安否確認の方法や集合場所などを決めておいてください。

また、避難場所や避難経路はあらかじめ確認しておくことが大切です。非常用持ち出し袋など防災グッズについても準備や点検など、備えを万全にしておくようお願いいたします。

■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL 721111(内線214)

特定健診自治公民館表彰制度

特定健診受診率の高い11公民館を表彰



▲道野公民館の有村貞雄館長(写真右)と西本町公民館の山下正孝館長(同左)

特定健診の受診率が高く、住民の健康に対する意識が高い自治公民館を表彰する「特定健康診査自治公民館表彰」で、11公民館が表彰されました。9月10日に開催された市民健康教室で表彰式が行われ、受診率部門1位の道野公民館と増加値部門1位の西本町公民館に、表彰状と副賞が授与されました。

いあって健診を受診し、ご自分がお住まいの公民館の入賞を目指しましょう。

■表彰公民館の紹介

受診率部門(受診率の高い公民館)

- 1位 道野公民館(72.00%)
- 2位 瀬戸口公民館(69.23%)
- 3位 下園公民館(64.71%)

増加値部門(前年度に対する受診率の増加値が高い公民館)

- 1位 西本町公民館(9.71)
- 2位 小塚公民館(9.09)
- 3位 山口公民館(8.35)

◎特定健診対象者数70名を超え、上位3公民館の次に優秀だった公民館

受診率部門 木場公民館

(59.26%)

増加値部門 汐見町公民館(6.94)

◎特定健診対象者数70名以下で、上位3公民館の次に優秀だった公民館

受診率部門 美初公民館(63.64%)

増加値部門 小園公民館(8.25)

◎特定健診対象者数10名以下で過去3年間の受診率がすべて60%以上の公民館 界守公民館

■特定健診を受けましょう

今年度、特定健康診査を受けていない方を対象とした集団健診を実施します。対象者 40歳から74歳の国民

健康保険加入者で、今年度特定健診未受診の方

日程

- ・特定健診のみ 10月24日(月)
- ・特定健診、がん検診 10月25日(火)、11月5日(土)

※がん検診 胃がん検診、腹部超音波検診、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診、大腸がん検診

受付時間 午前8時～10時

受診場所 南薩地域地場産業振興センター

※対象者には個別に受診券を送付します。

※受診の際は「特定健康診査受診券」と「保険証」を両方持参してください。

■問合せ 健康課保険医療係 TEL 721111(内線147)

鹿兒島水産高校に海洋立国推進功労者表彰



鹿兒島水産高校が、海洋立国推進功労者として総理大臣表彰を受けました。9月25日に首相官邸で授賞式が行われ、26日には新屋敷盛男校長と立石仁志教頭が市役所を訪れ、神園市長に受賞の報告を行いました。

海洋立国推進功労者表彰は、海洋に関する幅広い分野で普及啓発や学術・研究、産業振興などに顕著な功績を上げた個人、団体を表彰するものです。

鹿兒島水産高校は、航海実習にあたり、55年間にわたってハワイ近海の水温や塩分濃度、漁業資源調査を続けていて、その調査結果を国の研究機関に報告をしており、高い評価を得ています。また、漁業・海運分野での上級資格取得の積極的な取り組みなどによる後継者育成や漁獲されたマグロを「水高マグロ」として枕崎漁港に水揚げし、地域経済へ貢献したことなどが評価されました。

新屋敷校長は「今回の受賞は生徒たちの頑張りはもちろんですが、実習船職員の献身的な役割も非常に貢献度が大きいと思います」と話していました。

三反園訓県知事にコンテナヤード整備事業を説明



神園市長は、9月13日、野間健康院議員、尾辻秀久参議院議員らと県庁を訪れ、三反園訓県知事にコンテナヤード整備への展望などについて説明・提案を行いました。

コンテナヤードの必要性や本市水産業界の現状について報告を行った後、意見交換が行われ、三反園知事は「県としても真剣に検討していきたい」と話していました。

宝くじの助成金で公民館の設備・備品を整備

一般財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの受託収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に

寄与するものです。本年度、本市では新町公民館、瀬戸口公民館、婦人防火クラブがそれぞれ助成を受け、公民館の施設・備品と防火広報用視聴覚資器材の整備・充実を行いました。

◎整備した設備・備品

新町公民館  
物置、テーブル、イス、テント、テレビ、ブルーレイレコーダー、カラオケセット、ビデオカメラ ほか9品



瀬戸口公民館  
掲示板、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、扇風機、掃除機、ワイヤレスマイク、ガスコンロ ほか25品



婦人防火クラブ  
キャリングアンプ、ワイヤレスチューナーユニット、ワイヤレスマイク、スピーカー ほか7品

